

舎は大幅な2度の増築と改築（外壁等の改修を含めると4回）によるもので、最初に建築されたのは明治24年2月28日（1891）に筑豊興業鉄道の折尾駅が開業した時で、この駅舎を基に明治28年（1895）に2社合同の駅舎として増築され、その後、大正5年11月5日（1916）に改築されたと考えられる。大正5年11月5日（1916）の改築はハーフティンバーのデザインで改築された。大正時代の建築遺構でハーフティンバーのデザイン遺構は少なく極めて貴重な建築遺産と言える。また、現在の駅舎は明治時代と大正時代の駅舎遺構を有し、明治時代と大正時代の建築遺構を合わせ持つ折尾駅舎は貴重な建築遺産でもある。一方、大正5年11月5日（1916）に改築された折尾駅舎の2階はメインストリートからの軸線と視線を考慮して設計され、駅舎のシンボリズムと視線を考慮した設計が行わ

れたと考えられる。

【注】

- (1) 『九州鉄道100年記念誌』九州旅客鉄道株式会社（平成元年）などに記されている。
 - (2) 大正3年（1914）建築の京都駅待合室にも同じような円形椅子と柱があり、大正時代の駅舎の待合室等に設えられていたと考えられる。
 - (3) 『国鉄建築のあゆみ1870-1970』鉄道建築協会 1970.5.15
 - (4) 大正5年11月7日（1916）に福岡日日新聞に掲載された「新築折尾停車場」の写真記事は写真だけで、説明の記事はない。
 - (5) 昭和9年撮影の写真の原板は所在不明である。
 - (6) 写真-6は国土地理院の昭和49年撮影写真を用いた。
- ※ 謝辞：この研究報告は本学4年生の三浦文義君の協力を得て作成されたものである。記してお礼を申し上げます。

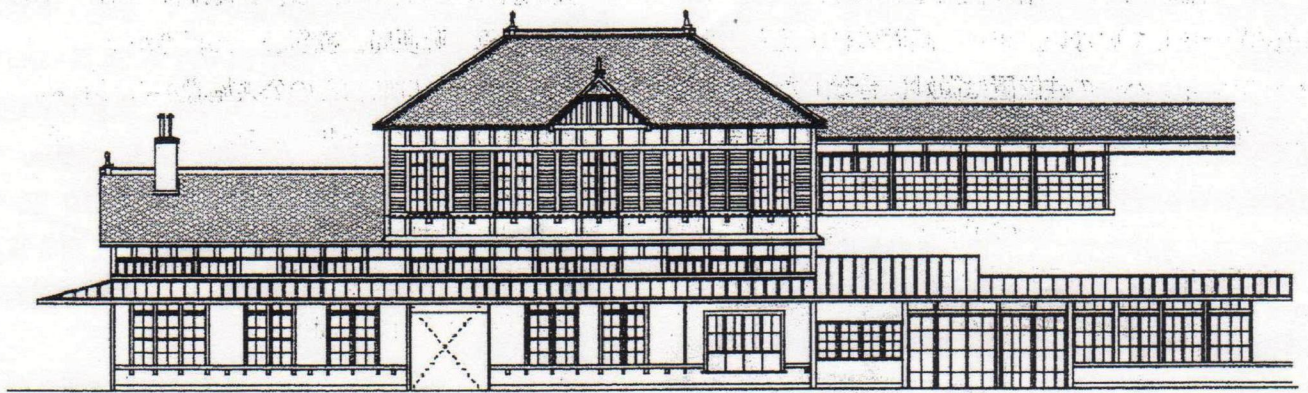


図 - 1 大正5年の折尾駅舎復原図

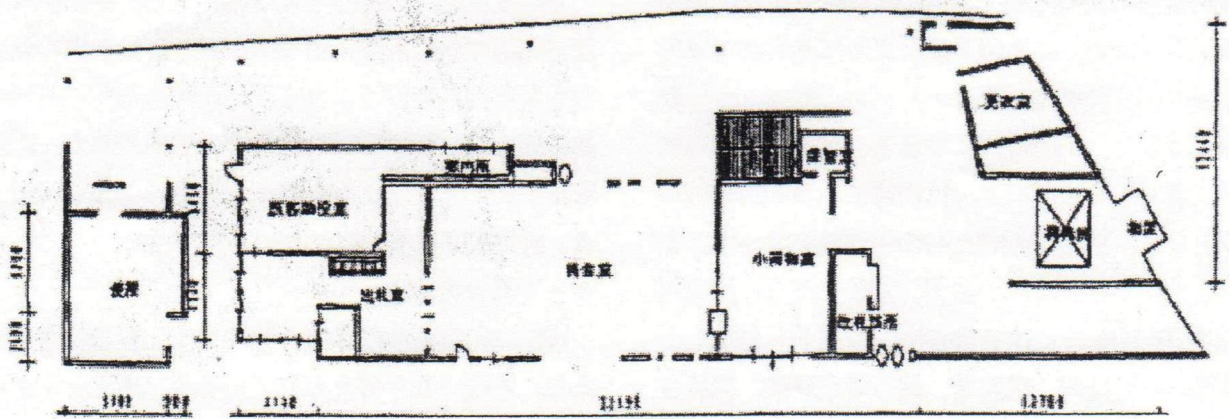


図 - 2 昭和58年の折尾駅舎平面図（折尾駅所蔵）

* 1 九州共立大学工学部建築学科
 * 2 九州共立大学工学部建築学科 教授 博士（工学）

Student, Kyushu-Kyoritsu Univ.,
 Prof., Kyushu-Kyoritsu Univ., Dr. Eng.